

生涯学習情報紙

発行：大和村教育委員会事務局・中央公民館

第349号



2023



(しげき校長の大和見聞録)

「時代によって違う海面の高さ」！

地球温暖化による海面上昇は今や世界共通の喫緊の課題となっています。ところで、これは地球の歴史上初めてのことなののでしょうか。実はそうではなく、過去に海面は気候変動に影響され、何回か上下しています。今から約16000年前、氷河期が終わり、海面が今より120m下がっていました。大和村でも今の海岸線よりかなり沖合まで陸地が広がっていたことでしょう。日本列島は場所によってはユーラシア大陸と地続き、時代によって違う海面の高さになった場所もあったようです。

その後地球の気温は上がっていきます。いわゆる地球温暖化です。約8000年前には海面がほぼ現在の高さとなり、約6500年前には逆に海面が現在より3～5m高くなり、海沿いの低い土地や谷間だったところには海水が入り込んでいました。現在の大和村でも海岸近くの平地はほとんど水面下に消えたものと考えられます。この変化を「海進(かいしん)」と言います。この時期は日本各地で静かな内海が広がり、海底には川から流れてきた泥が堆積していました。関東平野ではかなり内陸まで、海水が入り込んでいたようです。千葉や北関東で今の海岸線より100km以上内陸にある貝塚で魚介類の骨や殻が大量に出てくるのはそのためです。その後地球全体で気温の寒冷化があり、海面は再び下がり始め、内海だった所は川から流れ込んだ土砂によって埋め立てられ、平地が形成されました。この変化を「海退(かいたい)」と言います。大和村でもこの時期の海退によってできた海岸沿いの平地に人が住み始め、現在の集落のいくつかの基礎ができたものと私は考えています。このように、見てみると地球は現代の温暖化による海面上昇よりも、かなり激しい海面の高さの変化を経験しているといえます。

(注：海進、海退には諸説があります。)

第19回まほろば大和ウォーキング大会開催

「第19回まほろば大和ウォーキング大会」を令和5年1月29日(日)に奄美フォレストポリス一帯で開催いたします。

コロナ禍の影響で、2年間、開催が出来ない時期が続いていましたが、今年度は感染症対策を行いながら開催いたします。それに伴い、昼食の販売をいたしません。

また、参加ご希望の方は、事前申込を行って下さい。

事前申込み以外は、抽選会への参加が出来なくなりますのでご了承下さい。お申込みについては、下記をご覧ください。

申込期間

1月5日(木)～1月20日(金)

申込方法

- ・QRコード読み取り
- ・TEL (0997-57-2154)
- ・FAX (0997-57-2271)



県体記念グラウンドゴルフ大会開催

第18回奄美県体記念グラウンド・ゴルフ大会が3年振りに奄美フォレストポリスで12月4日

(日)に開催されました。村内外から29チームが参加しました。団体優勝は、ワーク友の会、2位は古仁屋タ暮れ会、3位は一二三会と村外のチームでした。また個人の男性の部では、ワーク友の会の川畑克久さんが28打で優勝、女性の部では、大和村のオリーブの会の玉井早苗さんが32打で優勝しました。2位も大和老人クラブ1組の里美幸さんと女性陣が奮闘しました。



優勝のワーク友の会チーム

令和5年 二十歳の集い

令和5年の二十歳の集いが、1月4日(水)午後3時から大和村防災センターで開催されます。令和4年4月1日に成人年齢が18歳と法律で制定されましたが、大和村では、平成14年4月2日から平成15年4月1日生まれの方で、干支は午と早生まれの羊の方を対象者に行います。

二十歳を迎える皆さんは、久しぶりに同級生と再会し、小学校・中学校での学校生活や地域での子ども会活動等を振り返りながら、将来の夢を語り合い、これから社会人としての自覚を持つことでしょうか。

文化財防火デー

1949(昭和24)年1月26日早朝、現存する世界最古の木造建築である奈良の法隆寺金堂で火災が発生、世界的に有名な壁画の大半が焼失しました。また、同年2月には愛媛の松山城の筒井門など3棟、6月には北海道の松前城天守など2棟が焼失しました。これらを教訓として、1955(昭和30)年に、文化財保護委員会(現文化庁)と国家消防本部(現消防庁)が、法隆寺火災のあった1月26日を文化財防火デーに制定しました。大和村にある大切な文化財も、大切に守っていききたいものです。